

絵手紙交流inフィレンツェ イタリア絵手紙9日間の旅

募集中

2023年11月15日(水)～23日(木)9日間

絵手紙の展示や体験教室を通じて文化交流できる「フェスティバル・ジャポネーゼ」に参加します。他にも観光や世界遺産スケッチなどのお楽しみもたくさん。ぜひご参加ください。詳細は28頁をご覧ください。

プラス+1講座

二人の師から学んだ生き方

2023年9月1日(金)

講師：成沢悦子（日本絵手紙協会公認講師）

会場：大阪・絵手紙ホール

5月に東京、6月に大阪で開催した講座の追加開催です。

詳細は80頁をご覧ください。

次号予告 エッセイにチャレンジ！

- 96 95 94 93 92 90 88 86 84 83 82 81 80 79 78 77 76 66
- ◎日本絵手紙協会からのお知らせ
- 講座のご案内
- あなたの街の絵手紙情報（展・体験）／脳活クイズ（解答）
- 投稿のご報告
- 投稿の募集要項・絵手紙年賀状 大募集
- ◎小池邦夫の絵手紙教室
- 第一回全国大会の記「心を結びつける絵手紙の力」
- ◎兼岩幸恵の小さくとも一步
- 「くり返し見る、くり返し聞く」
- ◎阿部祥子のどんどん動いてどんどんかいてどんどん学ぼう「絵手紙の墨は魔法」
- 展示会を見る「谷内こうた展 風のゆくえ」
- 節気を感じて「ときめく暮らし」
- 脳活クイズ 結城俊也／〈報告〉協会だより
- 日本絵手紙協会・推薦教材
- ボランティア部からのお知らせ
- 日本絵手紙協会へのアクセス
- 「絵手紙友の会」からのお知らせ／編集後記
- 『月刊絵手紙』定期購読のご案内
- ご注文方法



石倉次枝（福岡）
幼い時に母が作ってくれたふんわり甘~い玉子焼、口にいれると幸福な気持ちになりました。



広瀬正子（富山）
どんなご馳走もみそ汁がないと物足りません。



佐藤恵子（北海道）
北海道の小豆は美味しいです。



中村知子（香川）
主人が大事に育ててくれた空豆、美味しくいただけて寿命が75日になりました。



山下伸子（岐阜）
故郷を離れても食べたくなる、自分の家の味が1番です。

もくじ

月刊絵手紙 2023年8月号

巻頭ことばの旅
古拙微笑

読者投稿 ひろばより

登坂和雄の一語一絵（逢）

山田壹代春の詩画世界

特集○あなたに出会えてよかつた
「絵手紙友だち」の見つけ方

（報）第36回絵手紙友の会全国大会in水戸

2023年度「絵手紙友の会」募集

絵手紙交流inフィレンツェ

イタリア絵手紙9日間の旅

木もれ日「モチーフを探して日々奮闘！」

柳宗悦の眼に学ぶ 白土慎太郎

手紙のヒント 中川越

自分の道を歩く——相田みつをの言葉

読者投稿ひろば

テーマ「1番好きな食べもの」
自由絵手紙／なんでも100字／活動報告

essay アーサー・ビナー



加藤あち子（宮城）

（表紙の絵手紙）あんみつ：永岡幸子（三重） アンズ：富田弘子（神奈川） おにぎり：豊秋孝子（石川）



日本絵手紙協会の
ホームページはこちらから



公式Instagram
etegami_society



公式Twitter
@Etegami_Society

ひろばテーマ
「1番好きな食べ物」より

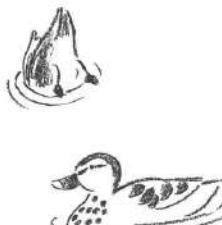
特集

あなたに会えてよかったです！

「絵手紙友だち」の見つけ方

感謝してもしきれないほどの素晴らしいご縁、
しあわせがないなあくのくされ縁、ムーム…これ
は運命だと感じる縁まで、縁にもさまざまあ
れど、手がきの絵手紙でつながるご縁は、素直・
素顔・素朴の素^すがいっぱいの、素敵なご縁。

今月は、絵手紙交流の原点ともいえる「絵手紙
友の会」の皆さんに、「見知らぬ人とどうやって
友だちになるのか?」についてヒントをいただき
ましょう。



お気に入りがいっぱい！



井上信代さん(大阪からの絵手紙)
「しばらく使いがないと心配していたらこの
一枚が届いて、安心しました」(湯田)



藤山直子さん(山口からの絵手紙)
「うんうん、本当にふしぎだと僕も思います、
と受け取って共感しました」(湯田)



本当に感じたことを書く

湯田浩一(81歳・神奈川)

定年後の76歳から絵手紙を始めて5年。今では妻の友だちにも絵手紙を出して喜ばれています。

「この人いい人だなあ」を大切に



若林てるみさん(埼玉からの絵手紙)
「この『サンタさんを起こしてきます』
という言葉がユニークで、もうつたとき
は思わずスコーキー」(湯田)



神津和喜さん(埼玉からの絵手紙(上・下とも))
友の会の入会が同期の神津さんとは、上野で待ち合わせて水戸大
会へ一緒に出かけたそう。「最初の柿の絵手紙から人柄が伝わって
きて、気が合いそうだと感じました」(湯田)



湯田さんの絵手紙
(表書きより)「あの私…です」名刺をいた
だく、「えっ、あー、いつもありがとうございます」「あ、そ
うですか、驚きました」全くわけが分か
らないけど、あいさつが済む。

息子が就職先の研修で送つ
きた絵手紙を見て「これなら俺に
もかける」と、早速日本絵手紙協
会の教室に通つて、友の会で交流
を始めました。絵手紙から「この
人いい人だなあ」「面白いなあ」と
感じています。いいなと思ったと
ころを素直に伝えて、言葉も、受
け取った人が嫌な気持ちになら
ないよう気にかけています。本
当に感じたことを書いています。

いつの頃からか、妻の友だち
にも出すようになりました。学
生時代はあまり深いつき合いが
なかつたそうですが、私の絵手
紙が届くと向こうから電話がか
かってきて、2人で楽しそうに
長話をしているのを見ると、絵手
紙をやつてよかつたなあと思
います。

スタートは76歳からと遅めで



谷口久栄(奈良)
ごはん1杯目はまず刺身で、2杯目が大好きなお茶漬け。これがたまりません。



後藤敦子(大分)
柔らかくてチーズみたいな
濃厚な味が好きです。



森 加代子(広島)
母直伝の食べ方です。どうして好きか……
おいしいから。



川畑信子(福岡)
母が得意だった巻き寿司の味が忘れられません。

ひろば

テーマ

「1番好きな食べもの」

スイーツ、果物、寿司etc……美味しいものは笑顔と元気のもと!

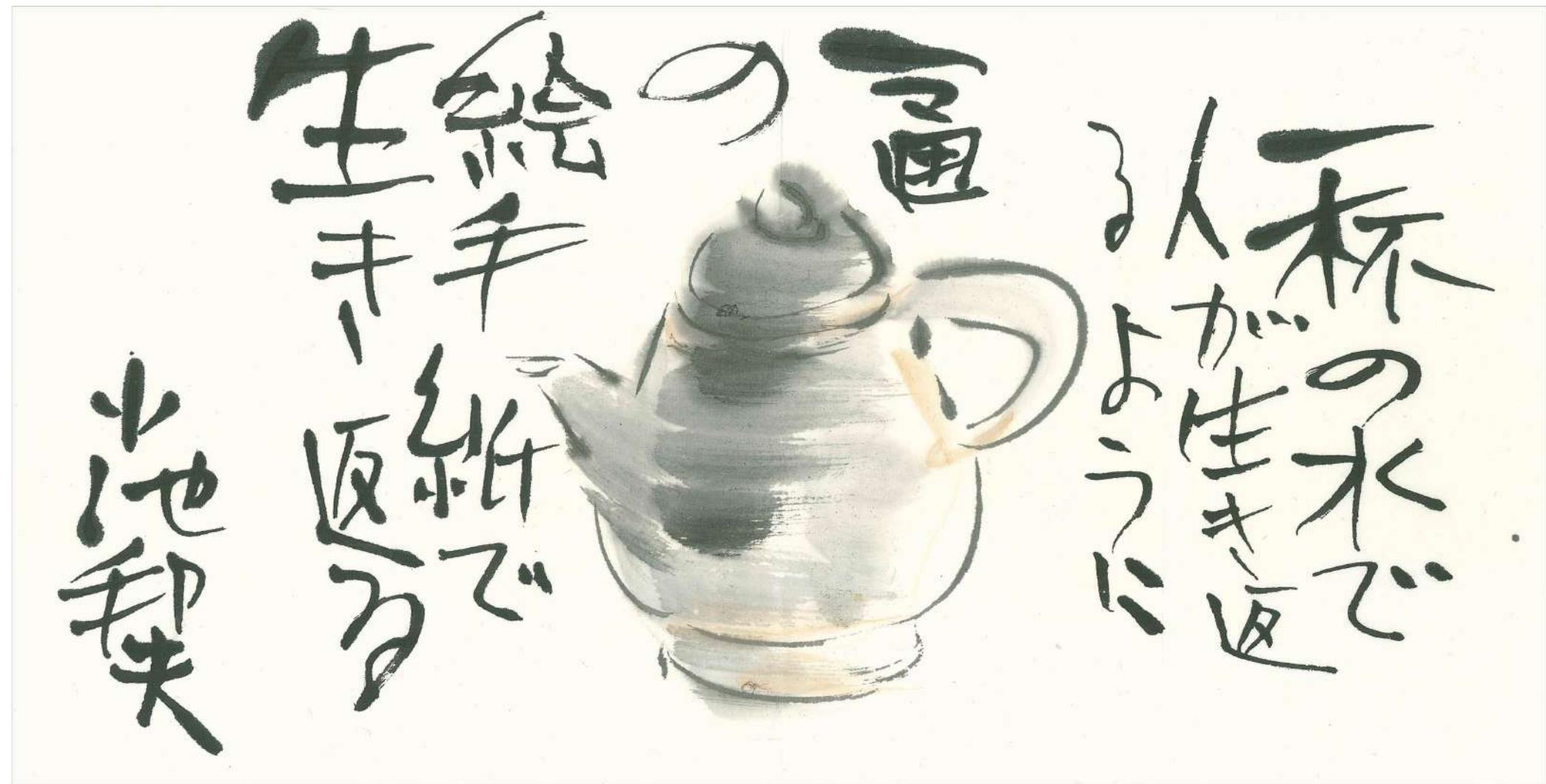
自由絵手紙／なんでも100字／活動報告



前田利子(宮城)
バニラソフトクリームって、初めて行った町なのに
「昔ここで食べた」って思わせる不思議な力を持つ
ている。



山田みさよ(新潟)
新潟といえば笹団子。子どもの
頃から食べていて大好きです！



画仙紙 ほほ原寸

こいけ・くにお 1941年(昭和16)愛媛県松山市生まれ。19歳より絵手紙を書き始め、「へタでいいへタがいい」をモットーに絵手紙を広める運動をつづける。日本絵手紙協会名誉会長。

誌上レッスン
初心から学ぶ『へタでいいへタがいい』
絵手紙教室
月刊誌を使って好きな時に好きな場所で学んでいきましょう